News Release

No.26-0132A

報道関係各位

2026 年 11 月 5 日

ヒューマンアカデミー株式会社

九州のものづくりの未来を、子どもたちがロボットで考える 「探究フェス 2026 九州」11 月 7 日（土）・8 日（日）北九州で開催

～九州工業大学の学生チームによる火星探査ローバーの展示も実施～

教育事業を展開するヒューマンアカデミー株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：田中 知信）の児童教育事業「ヒューマンアカデミージュニア」は、一般社団法人未来創生 STREAM 教育総合研究所（以下「RISE」）が主催する地域密着型の探究成果発表イベント「探究フェス 2026」に協力しています。

2026 年 11 月 7 日（土）・8 日（日）に福岡県北九州市の九州工業大学戸畑キャンパス内「GYMLABO（ジムラボ）」で開催される「探究フェス 2026 九州」では、小学生向けの推奨テーマに「ミライの九州のものづくりを考えよう！（ものづくり・産業）」を掲げ、子どもたちが地域の産業や課題に目を向け、ロボットやアイデアポスターによる探究成果を発表します。

また、九州工業大学の学生チーム「KIT-AURORA（キット・オーロラ）」による火星探査ローバーを展示します。ロボットの障害物レースやオムニホイールロボットの操作、Scratch で制作されたゲームの体験なども実施し、子どもたちが宇宙探査やロボット・デジタル技術に触れる機会を設けます。

【本件のポイント】

- 11 月 7 日（土）・8 日（日）、北九州市の九州工業大学戸畑キャンパス内「GYMLABO」で「探究フェス 2026 九州」開催
- 九州のものづくり産業をテーマに、子どもたちがロボットやデジタル技術を活用したアイデアを発表
- 九州工業大学の学生チーム「KIT-AURORA」による火星探査ローバーの展示を予定するほか、ロボットの障害物レースや Scratch ゲーム体験なども実施



■取材・本件に関するお問い合わせ■ ヒューマンアカデミー株式会社 広報担当 原・高橋
E-mail：ha_info@athuman.com

■背景

近年、学校教育では、子どもたちが自ら課題を発見し、情報を収集・分析しながら解決策を考える「探究的な学び」が重視されています。文部科学省は、探究を実社会や実生活の中から問いを見いだし、自ら課題を設定して情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現する学習活動と位置づけています（※）。

こうした中、RISE は、子どもたちが身近な地域課題に目を向け、ロボットやデジタル技術などを活用して解決策を考え、発表する「探究フェス 2026」を全国 7 会場で開催しています。

九州会場では、地域のものづくり産業に関わる課題を題材に、子どもたちが解決に向けたアイデアを考え、発表する機会を設けます。また、九州工業大学戸畑キャンパス内の GYMLABO を会場に、ロボットやデジタル技術に触れる体験プログラムも展開します。

（※）出典：文部科学省「総合的な学習（探究）の時間」

■九州のものづくりをテーマに、子どもたちが探究成果を発表

九州会場では、小学生向けの推奨テーマを「ミライの九州のものづくりを考えよう！（ものづくり・産業）」としています。開催地の北九州市は、鉄鋼業をはじめとする製造業が発展してきた地域であり、現在は産業用ロボットなどの分野でも知られています。このテーマでは、工場で働く人々の安全確保や作業負担の軽減などを題材に、ロボットやデジタル技術を活用した課題解決のアイデアを考えることを呼びかけています。

中学生・高校生向けには、「防災・減災」「観光・地域文化」「一次産業の支援」「福祉・共生社会」の 4 つのテーマを設定しています。防災や地域の魅力発信、農林水産業の支援、高齢者や障がいのある人々の暮らしを支える取り組みなど、幅広い社会課題を題材に探究する機会を設けます。ロボットコンテスト部門では、参加者が製作したロボットをメインステージで動かしながら、工夫した点などを発表します。アイデアポスター部門では、参加者が自分のポスターの前で、興味を持った来場者にアイデアを説明します。来場者からの質問や感想を通じて、子どもたちが自分の考えを伝え、交流する機会を設けます。

■九州工業大学の交流拠点「GYMLABO」で、ロボット技術に触れる

九州会場となる「GYMLABO（ジムラボ）」は、九州工業大学が 2022 年 5 月に戸畑キャンパス内に開設した、学生・企業・地域の交流や共創を促す施設です。

旧体育館を改修した建物には、コワーキングスペースやイベントスペースなどが設けられており、さまざまな交流活動やイベントに活用されています。

今回の「探究フェス 2026 九州」では、同施設を会場に、九州工業大学の学生チームによる展示を予定しているほか、ロボットの操作や Scratch ゲームなどの体験プログラムを実施します。子どもたちが大学生の活動や技術に触れ、科学技術やものづくりへの関心を広げる機会を設けます。

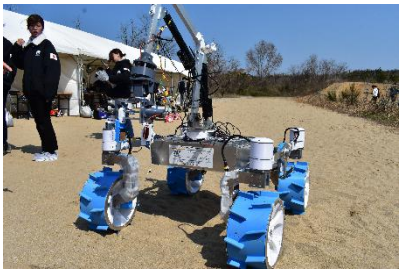


九州工業大学の交流拠点
『GYMLABO（ジムラボ）』

■九州工業大学の学生チーム「KIT-AURORA」による火星探査ローバーの展示

九州会場では、九州工業大学の学生による火星探査ローバー開発プロジェクトチーム「KIT-AURORA（キット・オーロラ）」のブース展示を予定しています。同チームは、火星の地表を走行して探査するロボット「ローバー」の開発に取り組み、自作のローバーで技術を競う国際大会「University Rover Challenge（URC）」への出場を目指しています。

当日は、学生たちの開発活動を紹介する展示を通じて、子どもたちが宇宙探査やロボット技術に触れ、ものづくりへの興味や関心を広げる機会を設けます。


「KIT-AURORA（キット・オーロラ）」が
開発する火星探査ローバー

■取材・本件に関するお問い合わせ■　ヒューマンアカデミー株式会社 広報担当 原・高橋
E-mail：ha_info@athuman.com

■ロボットの障害物レースや Scratch ゲーム体験も実施

九州会場では、ロボットコンテストやアイデアポスターの発表に加え、来場者がロボットの操作やデジタル技術を体験できるプログラムを実施します。

「障害物レース」では、ロボットを操作して凹凸のあるコースの走行に挑戦し、「オムニホイールロボット」では、特殊な車輪を備えたロボットを操作して迷路の脱出を目指します。さらに、「Scratch ゲーム体験」では、ビジュアルプログラミング言語「Scratch」で制作されたゲームを楽しめます。

これらの体験プログラムでは、学生スタッフがロボットの操作などをサポートし、子どもたちが試行錯誤しながら、ロボットやデジタル技術に親しむ機会を提供します。



迷路走行に使用するオムニホイールロボット

■「探究フェス 2026 九州」開催概要

開催場所	GYMLABO（ジムラボ） 九州工業大学 戸畑キャンパス内 福岡県北九州市戸畑区仙水町 1-1
日時	2026 年 11 月 7 日（土）・8 日（日）10:00～17:00 （受付開始は両日 10:00／雨天決行）
参加費	無料
申込方法	体験プログラムなどは当日受付参加可能です。
主催	一般社団法人未来創生 STREAM 教育総合研究所
共催	一般社団法人デジタル人材共創連盟、国立大学法人九州工業大学
協力	ヒューマンアカデミー株式会社
主な内容	ロボットコンテスト、アイデアポスター発表、九州工業大学「KIT-AURORA」による火星探査ローバーの展示、ロボット障害物レース、ロボット操作体験、Scratch ゲーム体験など
HP	https://www.rise.or.jp/tankyu_fes/fukuoka/

■メディア関係者の皆さまへ ご取材に関して

「探究フェス 2026 九州」では、当日のご取材を受け付けております。九州のものづくり産業をテーマにしたロボットコンテストやアイデアポスターの発表に加え、九州工業大学の学生チーム「KIT-AURORA」による火星探査ローバーの展示、ロボットの障害物レースや Scratch ゲーム体験などをご取材いただけます。

取材をご希望の報道関係者の方は、2026 年 11 月 6 日（金）12:00 までに、下記お問い合わせ先まで、媒体名・ご担当者名・取材希望日時・ご連絡先をお知らせください。

ヒューマンアカデミー株式会社 広報・ブランド推進室 担当 原・高橋
E-mail：ha_info@athuman.com

■「探究フェス 2026」について

「探究フェス 2026」は、子どもたちが地域の課題について考え、ロボットやデジタル技術などを活用してアイデアを形にし、発表する地域密着型の探究成果発表イベントで、2026 年 9 月 5 日（土）神奈川会場からスタートし、全国各地で行われます。

■取材・本件に関するお問い合わせ■ ヒューマンアカデミー株式会社 広報担当 原・高橋
E-mail：ha_info@athuman.com

■一般社団法人未来創生 STREAM 教育総合研究所（RISE）について

ロボット教育のもつ学びの可能性を提示し、客観的に評価する協会団体「一般社団法人未来創生 STREAM 教育総合研究所（略：RISE）」を 2024 年 6 月に設立しました。団体名にある STREAM 教育とは、STEAM 教育（Science：科学、Technology：技術、Engineering：工学、Arts：教養/創造性、Mathematics：数学）に Robotics（ロボット技術）の R を加えたもの。R には Reality（現実性）や Reviewing（評価）などの意味もあり、今後ますます複雑化する社会を生き抜くための教育方法です。

コンテスト運営や検定運営など、教育機関や教育関係者、企業パートナーと連携しながら、ロボット教育が与える子どもの成長を評価し、次世代を担う子どもたち一人ひとりが持つ無限の可能性を育み、未来のイノベーターを生み出す契機となることを目標としています。

公式サイト：https://www.rise.or.jp/

■「ヒューマンアカデミージュニア ロボット教室」とは

「ヒューマンアカデミージュニア ロボット教室」は、ロボットクリエイターの高橋智隆氏をアドバイザーに迎え、2009 年 6 月にスタート。未就学児（5～6 歳）から中学生を対象に全国で展開し、教室数は 2,000 教室以上、在籍生徒数は 27,000 名を超えるロボットプログラミング教室です（2026 年 3 月末時点）。5 歳から中学生までお子さまの年齢に合わせたさまざまなコースをご用意しており、「プレプライマリーコース」「プライマリーコース」「ベーシックコース」では、動くロボットを自ら作り上げ、試行錯誤を繰り返しながら構造や動きの仕組みを学びます。「ミドルコース」「アドバンスコース」では、さらにマイコンブロックやセンサーが追加され、専用タブレットを用いたビジュアルプログラミングでより複雑な動きを実現します。

子どもたちに科学の驚きと感動を与え、楽しく夢中になってロボット製作に取り組むうちに、新しい時代を生き抜く上で必要となる学びの基盤となる力が養われているというプログラムです。

●公式サイト URL：https://kids.athuman.com/robo/

■ヒューマンアカデミーについて https://manabu.athuman.com/

ヒューマンアカデミーは、学びの面白さを提供する「Edutainment Company」として、1985 年の創設以来、時代や社会の変化にあわせながら 800 以上の講座を編成しました。未就学児童から中高生・大学生・社会人・シニア層とあらゆるライフステージにおける STEAM 教育やリスキリング、学び直しの支援を行っています。

さらに、独自の「ヒューマンアカデミーGIGA スクール構想」を推進し、学習支援プラットフォーム「assist」を開発。SELFing サポートカウンセラーと講師が、個別に学習目的や目標にあわせた進捗管理や相談などの学習サポートをします。私たちは、常に最先端の教育手法やテクノロジーを取り入れ、学びの喜びを追求し、質の高い教育サービスを提供していきます。

■取材・本件に関するお問い合わせ■ ヒューマンアカデミー株式会社 広報担当 原・高橋
E-mail：ha_info@athuman.com

■ヒューマングループについて



1985 年の創業以来「為世為人（いせいいじん）」を理念に掲げ、教育を中核に人材、介護、保育、IT、美容、スポーツと多岐にわたる事業を展開しています。

深刻な社会課題である「労働人口減」に対し、各事業の専門性を活かした 4 領域で解決を推進しています。教育・人材事業による「海外人材の活用」「成長産業分野の専門教育と労働移動」、介護（通所・訪問・ホスピス等）や保育・学童運営による「国内労働力の確保」、RPA・AI・IT 活用を通じた「生産性の向上」に注力。SDGs への貢献を通じて、誰もが自分らしく生き、学び、働ける社会の実現と、時代に即した労働環境の革新に取り組んでいます。

●ヒューマンホールディングス ウェブサイト：https://www.athuman.com/

会社概要

ヒューマンアカデミー株式会社

●代表者：代表取締役　田中　知信　●所在地：東京都新宿区西新宿 7-5-25　西新宿プライムスクエア 1 階

●資本金：1,000 万円　●URL：https://manabu.athuman.com/

■本件に関するお問い合わせ■　ヒューマンアカデミー株式会社　担当　原・高橋
E-mail：ha_info@athuman.com

■ヒューマングループに関するお問い合わせ■　ヒューマングループ　広報担当　若林
E-mail：kouhou@athuman.com